

## 2020 年度活動報告

(2020 年 4 月~2021 年 3 月)

### (1) 危険物等事故防止対策情報連絡会 (資料 1)

消防庁主催の令和2年度危険物等事故防止対策情報連絡会に危険物物流団体連絡協議会の事務局として参加

第 1 回：20 年 9 月 28 日 経済産業省別館

- 議題 (1) 令和元年中の危険物に係る事故状況等について  
(2) 各団体における今年度の事故防止に関する取組状況について  
(3) 深刻度評価指標の一部改正について

第 2 回：21 年 3 月 8 日 書面開催

- 議題 (1) 令和2年度危険物等事故防止対策の実施状況について  
(2) 令和3年度危険物等事故防止対策実施要領(案)について

### (2) 令和2年度 危険物施設の風水害対策のあり方に関する検討会 (資料2)

令和元年度の検討会では、平成30年度に発生した風水害に伴う危険物施設の被害状況を整理・分析するとともに、令和元年度に発生した重大事故等を勘案し、危険物施設が立地する場所において想定される災害リスク（浸水や土砂災害等の発生及びその危険性）に応じて、迅速かつ的確な応急対策が確保されるよう、『危険物施設の風水害対策ガイドライン』を取り纏めました。

令和2年度の検討目標としましては、現在の災害情報伝達手段及びその活用方法を提示することで、危険物施設全体に対応した効果的な風水害発生時における対応のあり方を示したい。実際被害のあった施設において訓練等による検証を行いフローチャート等による例示を示すことで事業者が効果的な運用が可能となるよう取り纏めることとする。

危険物物流団体連絡協議会の事務局として参加

令和2年 8 月 5 日 三田共用会議所 4階 第四特別会議室

第1回：a) 昨年度の検討の振り返り

b) 最近の動向について

c) 令和2年度の検討の進め方について

<調査分析>

AI・IoTを活用した災害情報の分析や伝達に関する技術、これらのシステムに関する開発・導入状況等を調査する。また地方公共団体や他省庁事業者団体におけるニーズや導入に関する課題、先進的な取組事例等を調査する。さらに情報伝達に係る実例として、過去の風水害に関係した事業所や公共団体に3件程度ヒアリングを実施する予定。

<実証訓練>

事業所を対象とした風水害対策ガイドラインを用いた訓練を実施し検証を行うこととする。

令和2年 12 月 7日 経済産業省別館 第231号共用会議室

第2回：a) 事業所対象訓練の報告について

b) 危険物施設へのヒアリング調査について

c) 新技術を活用した情報共有について

d) 危険物施設の風水害対策タイムライン別検討について

e) ガイドライン案について

令和3年 3月 18日 コロナ禍によりWEB開催

第3回：a) 消防期間の危険物施設風水害対策指導の取り組みについて

b) 風水害対策のあり方に関する検討会報告書について

→ 添付資料3-2-2 検討報告書概要をご参照下さい。

### (3)危険物UN対応部会 (資料3)

国連の危険物の輸送並びに化学品の分類および表示に関する世界調和システムに関する専門家委員会の下部に位置する危険物輸送に特化した小委員会として国連危険物輸送専門家委員会があります。

この委員会で検討された各国並びに各種団体から提出された提案は、IMDG コードの改正等に反映されます。日本では日本海事検定協会殿の安全技術室が事務局となり国連の危険物輸送専門委員会に参加して提案を行っています。

危険物UN 対応部会は、危険物等海上運送国際基準検討委員会が開催する部会で危コン協の事務局が参加し、情報収集に努めています。

20 年5 月15 日 ~ 6 月12 日

第1 回危険物対応UN 部会参加

第57回国連危険物輸送専門家小委員会 メールにて開催

日本及び各国からの提案事項について協議

20 年11 月16 日

第2 回危険物対応UN 部会参加

第57回国連危険物輸送専門家小委員会への対応について

例 1 国際的に受入れ可能な基準としてフッ素濃度35%を利用することとした

例 2 ポータブルタンク及びMEGCsの衝撃試験及び判定基準マニュアル改正  
提案

21 年2 月8 日

第3 回危険物対応UN 部会参加

第57 回危険物対応UN 小委員会の報告について

例 1 スペインからガス用ラベル及びプラカードの視覚的区別提案について反  
対多数の為否決。

例 2 ベルギーから全てのプラスチック製小型容器、IBC 容器及び大型容器へ  
の再生プラスチック材料の使用拡大提案

例 3 カナダから衝撃試験の条件として、試験に供されるコンテナの状態及び  
天候に関する要件を規定追加する提案が採択

#### (4)講習会 (資料4)

20 年9 月29 日 オンライン勉強会

危険物運送規則の基礎知識講習会 講師 本庄顧問

危険物の法体系や危険物の分類、識別等基礎的事項を講義

入社歴の若い各社社員を中心に 83 名参加

21 年3 月16 日 オンライン勉強会

IMDG Code (Amdt.40-20) 及び危規則等改正に関する勉強会 講師 本庄顧問

5月の基礎講座後に寄せられた中から15の質問を中心に解説 参加 73 名

例 1 隔離グループ アルカリ類(SGG18)に4エントリー追加

例 2 TPの改正

例 3 深冷液化ガスを運送するポータブルタンクの輸送書類の書き方

例 4 定期検査期限を経過したポータブルタンクの検査義務と使用制限

(5)危険物施設の視察、研修

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(6)日本危険物物流団体連絡協議会幹事、事務局会議他

新型コロナウイルス感染症の影響により3団体協議にて賀詞交歓会中止

(7)理事会

20 年5 月26 日 第35 回理事会開催 書面審議  
19 年度の活動状況報告と20 年度活動計画案審議

21 年3 月4 日 理事会開催 2021年度会費について

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、総会や賀詞交換等が中止となったため、支出が大きく減少しました。そのため、繰越金が例年よりも増加しております。つきましては、2021 年度の通常会費は徴収しないこととし、特別に費用が必要になった場合には臨時会費を集めることとします。

(8)総会

20 年6 月26 日 第23 回書面審議：.19 年度の活動報告、会計報告、20 年度の活動計画案及び役員改選について承認

(9)賀詞交歓会（危物協）

2021 年1 月度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催無し

(10)親睦会

新型コロナウイルス感染症の影響によりゴルフ懇親会開催無し

(11)退会

中部資材株式会社 2021 年 3 月末にて退会